

「東白川村立村 130 周年記念式典」式辞

令和元年、菊香る秋の良き日に、村内外から多数の御来賓の皆様をはじめ、永年にわたり村の発展に御尽力いただきました諸先輩方々に御臨席を賜りまして、立村 130 周年記念式典を挙行できますことは、誠に大きな喜びでございます。

東白川村は明治 22 年 7 月 1 日、町村制実施に伴い、神土、越原、五加の三つの村が合併して誕生し、以来、本年で満 130 年の記念すべき年を迎えました。

本年は今日まで、村民の皆様と共に 130 周年を祝い「郷土歌舞伎記念公演」、東白川村出身の歌手・石原修二さんによる「ふるさとコンサート」、三遊亭円楽師匠を迎えての「文化講演会」など、記念事業を実施してまいりました。

そして本日、その集大成である記念式典を開催するにあたり、功労者表彰と感謝状をお受け取りになる皆様には、それぞれの立場で村の発展のために御尽力いただきました御功績に対し、深甚なる感謝と敬意を表すものであります。

立村 120 年からの 10 年間を振り返りますと、国内では平成 23 年の東日本大震災をはじめ、昨年は岐阜県でも甚大な被害があった平成 30 年豪雨災害、今年の台風 15 号・19 号による災害など、全国各地で自然災害が多発しております。犠牲になられました皆様の御冥福をお祈り致しますとともに被災された皆様には心から御見舞いを申し上げます。

このような状況下、自治体には防災・減災対策がより一層求められる時代となり、本村ではヘリコプター離着陸場、交流サロン、診療所及び介護老人保健施設、光ファイバー網などの施設を整備し、安全・安心な生活環境の充実に努めてまいりました。

一方では課題も山積しており、急速な少子高齢化、農林業の不振、後継者不足など、中山間地域である本村をとりまく社会情勢は大変厳しいものがあります。

しかし今を生きる私たちには、多くの先人の皆様が大いなる努力を持って守り通していただいた、素晴らしい自然に囲まれたふるさと東白川村を次の世代に伝える責任があります。

さまざまな課題を克服しふるさとを守るために、次の 10 年間では、関係機関の御指導を仰ぎつつ、本日御出席の皆様方との連携をより強固なものにしなければなりません。

そして先人の偉業に感謝し、来るべき未来に夢と希望を掲げ、村民の皆様の英知を結集し、「人口減少から人口増加」へと人の流れを変えるための仕組みづくりに取り組んでまいります。

結びに、第 5 次総合計画の将来像に掲げた「豊かな自然と美しい景観に包まれて 人がかかやく 地域力のあるむら ひがししらかわ」の実現に向けて邁進することを決意するとともに、東白川村の未来永劫の発展を祈念して式辞といたします。

令和元年 11 月 24 日

東白川村長 今井俊郎